

事後審査型制限付一般競争入札（物品供給等） 入札公告【共通事項】			
1. 入札参加資格	(1)	令和4・5・6年度大阪広域環境施設組合入札参加有資格者名簿（物品供給等）に当該案件に応じた種目で登録されていること	
	(2)	①	公告本文に定める入札参加資格をすべて満たすものであること
		②	地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること
		③	入札書提出日において、大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を受けていないこと
		④	入札書提出日において、大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けていないこと及び同要綱別表に掲げるいずれの措置要件にも該当しないこと
	(3)	入札参加資格の有無は、基準日を別に定める場合を除き開札日現在による。	
	(4)	入札参加資格の審査は、開札後に資格を確認する必要があると認められる者について行い、その他の者については行わない。	
	(5)	入札参加資格審査資料（以下「資格審査資料」という。）の提出の必要がある案件については、本組合の指定する期限までに、公告本文に定める資格審査資料を提出できること	
2. 入札参加手続等	(1)	入札書は紙により行う。郵便等は認めない。	
	(2)	入札の辞退 入札書提出後の辞退は認めない。	
	(3)	入札予定価格・入札参加者の公表 落札決定後に本組合ホームページにて公表する。	
	(4)	仕様書等の取得方法 公告本文に定める。	
	(5)	仕様書等に対する質問 質問、回答の日時、方法について公告本文に定める。	
	(6)	上記(1)～(5)によらない場合は、公告本文に定める。	
3. 入札の方法等	(1)	入札日時・場所は公告本文に定める。開札は、入札の終了後、直ちに当該入札の場所において行う。	
	(2)	入札参加者がいない場合は、当該入札を取り止める。	
	(3)	入札書の提出	
		①	入札書は、入札金額、住所、会社名、氏名等、必要な事項がすべて記入されたものを有効なものとして取り扱う。 入札書に記載する入札金額については次のとおりとする。ただし、これによらない場合は、公告本文で別途定めるものとする。
		②	下記ア、イ以外の場合 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（加算した金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税にかかる課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を記載すること
ア 長期継続契約対象案件の場合  入札書に記載する金額には、借入期間の総額を記載すること。 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（加算した金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額）をもって落札価格とするので、入札参加者は消費税及び地方消費税にかかる課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を記載すること			

		<p>イ 石油製品の買入の場合【件名に（単価契約）の表示があるもの】</p> <p>入札は1KL当たりの単価で行うものとし、落札決定にあつては、入札書に記載された金額に、当該金額（軽油については、軽油引取税相当額を控除した金額）の100分の10に相当する額を加算した金額（加算した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）をもって落札価格とするので、入札参加者は、消費税及び地方消費税にかかる課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額（軽油については、軽油引取税相当額を控除した額）の110分の100に相当する金額（さらに軽油については当該金額に軽油引取税相当額を加算した金額。ただし、免税軽油のみの場合は加算しない金額。）（当該金額に1円未満の端数あるときは、その端数を切り捨てた額）を記載すること</p> <p>③ 入札書の記入は注意して正確に行い、確認を行ってから入札を行うこと</p> <p>④ 入札書は、公告本文に定めた時間までに指定の入札箱に投函すること</p> <p>⑤ 一旦投函された入札書は、訂正、再提出又は撤回をすることはできない。</p>
<p>4. 再度入札</p>	<p>開札の結果、落札候補者がいないときは、再度の入札を直ちに行う。なお、回数については基本1回とする。その方法については、その都度本組合から指示する。</p>	
<p>5. 入札の無効</p>	<p>次の場合のいずれかに該当する入札は、これを無効とする。無効の入札をした者は再度入札に参加できない。</p> <p>(1) 大阪広域環境施設組合契約規則（平成26年規則7号）第27条第1項各号のいずれかに該当する入札</p> <p>(2) 1に定める入札参加資格を有しない者がした入札</p> <p>(3) 大阪広域環境施設組合所定の入札書を用いないでした入札</p> <p>(4) 同一入札について、他の入札者の代理人を兼ね又は2人以上の代理人として入札したときはその全部の入札</p> <p>(5) 再度入札の場合においては、前回最低入札書記載金額以上でした入札</p> <p>(6) 資格審査資料の提出が必要な案件において、指定する日時までに資格審査資料を提出しなかった落札候補者がした入札</p> <p>(7) 入札書提出日において、入札参加者が次の項目に該当する場合</p> <p>① 大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を受けている</p> <p>② 大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けている</p>	
<p>6. 入札参加資格の審査及び落札者の決定</p>	<p>(1) 開札後、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札をした者を落札候補者とし、落札の決定は保留する。</p> <p>(2) 予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札をした者が2者以上あるときは、開札時にくじによって落札候補者を決定するものとする。なお、予定価格の制限の範囲内で同価格の入札をした者が2者以上あるときは、開札時にくじによって第3位までの審査順位を決定する。ただし、第4位以降の審査順位を定める必要がある場合は、当該入札者に通知し、第3位までと同様にくじによって審査順位を定める。</p> <p>(3) 落札の決定を保留した後、落札候補者が入札参加資格を有する者であるか審査する。</p> <p>前号で規定する審査の結果により、落札候補者の取扱いは次のいずれかによるものとする。</p> <p>① 落札候補者が入札参加資格を有するものであることを確認した場合は、その者を落札者とし、落札決定を通知するものとする。</p> <p>(4) ② 落札候補者が入札参加資格を有しないものであることを確認した場合は、その者の入札を無効とする。この場合、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を新たに落札候補者とし(3)の入札参加資格の審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手続を繰り返す。なお、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者が2者以上あるときは、(2)により落札候補者を決定する。</p>	

	(5)	(3)の入札参加資格の審査にあたっては、落札候補者は、公告本文に定める資格審査資料を、開札日（(4)②において新たに落札候補者になった者については、提出を求めた日）の翌日（翌日が大阪広域環境施設組合における執務の休日にあたる場合は、その翌日とし、休日が連続するときは、休日最終日の翌日とする。以下同じ。）の午後5時30分までに提出しなければならない。期限までに提出がない場合は、当該落札候補者のした入札は無効とし、大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱の規定に基づく停止措置を行う。ただし、期限までに理由書（落札候補者用）を提出し、本組合がやむを得ないと認めた場合は停止措置は行わないものとする。						
	(6)	(4)②の手続きにより落札候補者の入札を無効にした場合には、入札を無効にした理由を付して、当該落札候補者に通知する。						
	(7)	開札後から落札決定までに、いずれかの入札参加資格要件を満たさなくなった場合は、入札参加資格を有しない者のした入札とみなし無効とする。						
	(8)	開札後から落札決定までに、入札参加者が次の項目に該当した場合は入札参加資格を有しない者のした入札とみなし無効とする。 <table border="1" data-bbox="438 665 1475 806"> <tr> <td data-bbox="438 665 505 712">①</td> <td data-bbox="505 665 1475 712">大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を受けている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 712 505 806">②</td> <td data-bbox="505 712 1475 806">大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けている。</td> </tr> </table>	①	大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を受けている。	②	大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けている。		
①	大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を受けている。							
②	大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けている。							
	(9)	落札候補者となった者は、正当な理由がある場合を除き、落札者となることを辞退することができない。辞退した場合は、入札は無効とし、大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱に基づく停止措置を行う。						
7. 落札の決定日		原則として、落札の決定日は開札日（再度入札の場合は、その開札日）の翌日から起算して、資格審査資料の提出の必要がある案件については5日（大阪広域環境施設組合における執務の休日を除く。）後とし、資格審査資料の提出の必要が無い案件については、開札日（再度入札の場合は、その開札日）当日とする。ただし、これによらない場合は、公告本文で別途定めるものとする。なお、入札参加資格の審査対象者が複数生じた場合等は、必要な審査を行ったのち決定するものとする。						
8. 入札保証金及び契約保証金	(1)	入札保証金（見積った契約希望金額の100分の3以上） 免除 ただし、正当な理由がなく契約を締結しないときは、落札金額（入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（単価契約にあつては、落札金額に予定数量を乗じた額、長期継続契約にあつては、落札金額を1年当たりの額に換算した額（借入期間が12月未満の場合は、借入期間内に支払うことが見込まれる総額））の100分の3に相当する違約金を徴収する。						
	(2)	契約保証金 契約金額（単価契約にあつては、契約金額に予定数量を乗じた額、長期継続契約にあつては、契約金額を1年当たりの額に換算した額（借入期間が12月未満の場合は、借入期間に支払うことが見込まれる総額））の100分の10以上納付 ただし、政府公債、大阪市債等の提供をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、次のいずれかに該当するときは、契約保証金を免除する。 <table border="1" data-bbox="438 1465 1475 1820"> <tr> <td data-bbox="438 1465 505 1547">①</td> <td data-bbox="505 1465 1475 1547">落札者が保険会社との間に本組合を被保険者とする履行保証保険契約を締結し、当該保険証書を提出したとき</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1547 505 1724">②</td> <td data-bbox="505 1547 1475 1724">落札者が国又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を1回以上締結し、これをすべて過去2年の間に誠実に履行したと認められる書類を提出したとき、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。 ただし、長期継続契約に係る履行実績については、現在履行中であっても、12か月以上の期間履行されていれば、その契約を実績と認める。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1724 505 1820">③</td> <td data-bbox="505 1724 1475 1820">契約金額（単価契約にあつては、契約金額に予定数量を乗じた額、長期継続契約にあつては、予定総額）が500万円未満、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき</td> </tr> </table>	①	落札者が保険会社との間に本組合を被保険者とする履行保証保険契約を締結し、当該保険証書を提出したとき	②	落札者が国又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を1回以上締結し、これをすべて過去2年の間に誠実に履行したと認められる書類を提出したとき、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。 ただし、長期継続契約に係る履行実績については、現在履行中であっても、12か月以上の期間履行されていれば、その契約を実績と認める。	③	契約金額（単価契約にあつては、契約金額に予定数量を乗じた額、長期継続契約にあつては、予定総額）が500万円未満、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき
①	落札者が保険会社との間に本組合を被保険者とする履行保証保険契約を締結し、当該保険証書を提出したとき							
②	落札者が国又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を1回以上締結し、これをすべて過去2年の間に誠実に履行したと認められる書類を提出したとき、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。 ただし、長期継続契約に係る履行実績については、現在履行中であっても、12か月以上の期間履行されていれば、その契約を実績と認める。							
③	契約金額（単価契約にあつては、契約金額に予定数量を乗じた額、長期継続契約にあつては、予定総額）が500万円未満、かつ、契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき							

9. その他	(1)	提出された資格審査資料等は、入札に関する審査・調査以外に使用しない。	
	(2)	契約条項を示す場所 「本組合ホームページ」 > 「入札契約情報」 > 「各種様式」 > 「契約書（雛形）」への掲載	
	(3)	契約書作成の要否 要	
	(4)	本組合側の都合等により、必要と認めるときは当該入札を延期又は中止することがある。	
	(5)	仕様書等に対する質問への回答は、システム上の問題等により、回答の公開が遅れる場合もある。	
	(6)	入札方法等の照会にあたっては、入札参加者が本組合職員にわかり得ることがないように充分留意すること	
	(7)	落札の決定から契約締結までに、落札者が次の項目に該当した場合は、契約の締結を行わないものとする。	
		①	大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けている
		②	大阪広域環境施設組合契約規則第31条第2項の規定により、契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあることその他の理由により著しく不相当であると認められるとき
(8)	契約締結後、当該契約の履行期間中に受注者が大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱に基づく入札等除外措置を受けたときは、契約の解除を行う。		
(9)	この公告に定めのない事項については、関係法令の他、大阪広域環境施設組合契約規則、事後審査型制限付一般競争入札の手引等の定めるところによる。		